



1e2020-012

2020 会計年度

一般財団法人ワンアース  
事業報告書

2020 年 9 月 30 日

一般財団法人ワンアース



1e2020-012

## はじめに

一般財団法人ワンアースは、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく、という目的を掲げ、平成 27 年 6 月 5 日に創立された。

本書は、当財団の 2020 年度(2019.10.1-2020.9.30)の事業報告である。  
なお、当財団の事業年度は 10 月 1 日に始まり 9 月 30 日に終わる。

2020 年 9 月  
代表理事  
長谷川洋一



1e2020-012

## 1. 当財団設立の目的

宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく

宇宙飛行士が、宇宙から生々しい言葉と映像を伝える時代になり、この星のありのままの姿が認知されるようになった。その結果、かけがえのない母星で共に生きる『地球市民』という新たな価値観が、国境を越えて醸成されつつある。

一般財団法人ワンアース®(以下、ワンアースという)は、地球市民、とりわけ未来を担う青少年らとともに、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを学ぶ。

そして、国境を越えた地球市民活動を展開し、各地域の風土や文化の多様性を、相互に敬意を持って受け入れ、宇宙文化とも言える新たな共通の価値観を紡ぎ出す。

これらの活動により、この星に生きる誇りと喜びを共有し、世界を一つに繋いでゆくことを究極の目標とする。

## 2. 重点分野

当財団は、以下の分野を重視して、活動をスタートした。

### 1) きぼうの桜事業

宇宙を旅した「きぼうの桜」群を筆頭に、「ソラユリ(宇宙を旅したササユリ)」「宇宙すみれ春野・希望(宇宙を旅したコスミレ)」を、東日本大震災、阪神淡路大震災、日航機墜落事故、原爆等の被災地に贈呈し、復興と市民交流を支援するとともに、大災害の記憶を人類共有の教訓として継承していく。

### 2) 宇宙文化の創造事業

国内外からの地球市民の参加を得て、国際宇宙ステーション等を活用した宇宙ミッションを実施し、宇宙的視野からみた地球の姿および宇宙飛行士からのメッセージなどを世界で共有し、宇宙文化を創造していく。



1e2020-012

### 3. 機関設計

評議員3名 理事4名 監事1名 ☆常勤1名

評議員 赤木一朗(オリーブアカデミー代表)

野澤汎雄(プロデューサー)

村田さち子(詩人)

理事 ☆長谷川洋一(代表理事)

踊場敏子(多摩さくらびと)

工藤園子(元日本さくらの女王)

三船文彰(音楽プロデューサー)

監事 内田斉(実業家)

名誉顧問 セルゲイ・アウデエフ宇宙飛行士(ロシア連邦英雄)

リロイ・チャオ宇宙飛行士(第10代国際宇宙ステーション船長)

山崎直子宇宙飛行士 ほか、国内外の有識者、宇宙飛行士 等

顧問 日本各地の桜守、芸術家、文化プロデューサー 等

【主たる事業所】 〒301-0003 茨城県龍ヶ崎市平台 4-20-6

【ホームページ】 <http://www.the-one-earth.org/jp/>

【電子メール】 [info@the-one-earth.org](mailto:info@the-one-earth.org)



## 4. 2020 年度事業報告

2020 年度(2019.10.1-2020.9.30)には、以下の事業を行った。

当初事業計画(1e2020-001)に対比して進捗報告を行う。

当初事業計画骨子(下線は重点項目) <公開資料 1e2020-001 より>	
<p>定款に則った活動の実績を上げつつ、公益財団化を見据えた会計システムに則りつつ、受注活動も促進し、<b>財政基盤の強化</b>を行う。</p> <p>きぼうの桜計画は、引き続き当財団の存在意義に関わる最重要事業として推進し、東北三県沿岸の全市町村にて計画を公式化し、その5箇所程度において、2021年春期に<b>植樹祭</b>を行う。また、きぼうの桜をとりまく市民文化の醸成のため、物語および歌(合唱曲)を広く周知する。</p> <p>2020年9月には、きぼうの桜事業に参加する地域間の水平的なつながりの礎を築くイベント「第5回 <b>きぼうの桜サミット</b>」を福島県福島市で開催する。</p> <p>さらに、2021年3月を目指した<b>東北復興宇宙ミッション</b>を企画実行し、外部有識者・協力者らの意見も取り入れつつ、復興史に残るような市民プロジェクトに育て上げる(打ち上げは2020年末頃を想定)。</p> <p>また、ワンアースの活動を全国的に認知してもらうために、<b>公的補助金等</b>を積極的に獲得し、<b>メディア露出</b>含めた広報努力を行う。</p>	

重点項目達成状況概略		◎十分達成、○ほぼ達成、△遅れている、×問題有り
①	財政基盤の強化	○茨城県信用組合、日本政策金融公庫との関係を構築した
③	植樹祭	△コロナで当初予定が大幅に狂ったが、いわき市、飯豊町に植樹することが出来た。
④	きぼうの桜サミット	×コロナの影響で実施できなかった
⑤	東北復興宇宙ミッション	◎コロナ下でも JAXA/NASA は奇跡のように健全に機能しており、復興庁からの補助金や日本政策金融公庫からの借入により実現
⑥	補助金の獲得	○復興庁心の復興 313 万円 ◎復興庁「東日本大震災発災 10 年復興発信事業」1000 万円



1e2020-012

## 5. 課題と対策

### 【財源確保活動の強化と、身の丈に合わせた活動実施】

今期までの活動はなんとか実施してきたが、財団運営に関わる共通経費(オフィス、人件費等)はほぼゼロであり、理想とする事業規模を推進するには財源が足りない。

公的補助金や自治体からの指名委託なども徐々に獲れるようになってきたが、さらに、民間からの受注を増やす努力が必要。

今後の対策は以下の通り

- ① きぼうの桜植樹実績および「東北復興宇宙ミッション」の絆を大切にし、国、県、自治体に直接働きかけていく
- ② ワンアース全般のサポートをしてくれる優良企業を見いだすこと
- ③ 一般向けの会員制度などを検討すること

## 6. 長中期事業項目(2020-2025年)

一般財団法人ワンアースの社会的使命を果たすため、中長期的には以下の事業に取り組む。

- 1) 宇宙桜等の保護、育成、増殖及び活用
- 2) 東日本大震災、阪神淡路大震災等復興地への支援活動
- 3) 青少年等の夢をはぐくむ宇宙文化創造事業(市民参加型宇宙ミッション含む)
- 4) 宇宙文化交流事業(海外への桜贈呈等含む)
- 5) 地球市民参加型宇宙ミッション(花伝説世界版、地球のかけら など)

これらに関しては、今年度の事業進捗を踏まえつつ、次年度以降の事業計画に反映していくものとする。

### 【特記事項】

今期の収入内訳等(御寄付以外)

- 看板デザイナーデータ制作を各自治体等から受託
- 宇宙グミ(BCC社)からの商標使用料



1e2020-012

- 宇宙桜御線香(梅薫堂社)からの商標使用料
- MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ様からの御寄付 100 千円

**【事業報告の附属明細書】**

- 1e2021-002 「きぼうの桜計画書」  
1e2021-004 東北復興宇宙ミッション計画書